

令和4年度文化庁日本語教育大会（WEB大会）

難民・避難民に対する日本語教育

インドシナ難民・条約難民・第三国定住難民・ウクライナ避難民

公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT) 会長

RHQ日本語教育参与

関口 明子



AJALT(公益社団法人 国際日本語普及協会)は、日本語を通して、文化や習慣を異にする人々が互いに理解し合い共存しあう社会をめざして事業活動を進めています。

多様な学習者に対するきめ細かい効果的な日本語教育の実践

多様な現場経験に基づき、対象別教材を開発

対象別日本語教育の
企画と実施



難民
年少者
外交官
ビジネスパーソン
技能実習生他



AJALTの主な事業

地域在住の外国人に
対する支援、協力



自治体及び国際交流団体等の主催する
日本語教師養成講座・ボランティア養成
講座の企画と講師派遣

教材開発と出版活動



教師養成プログラム
企画と実施

対象別教え方講座の実施・海外の日本語
教師研修会の実施等

日本にいる難民

1978年～2005年	11,319人
ベトナム人	8,656人
カンボジア人	1,357人
ラオス人	1,306人

1982年～2021.3	認定者数 915人
--------------	-----------

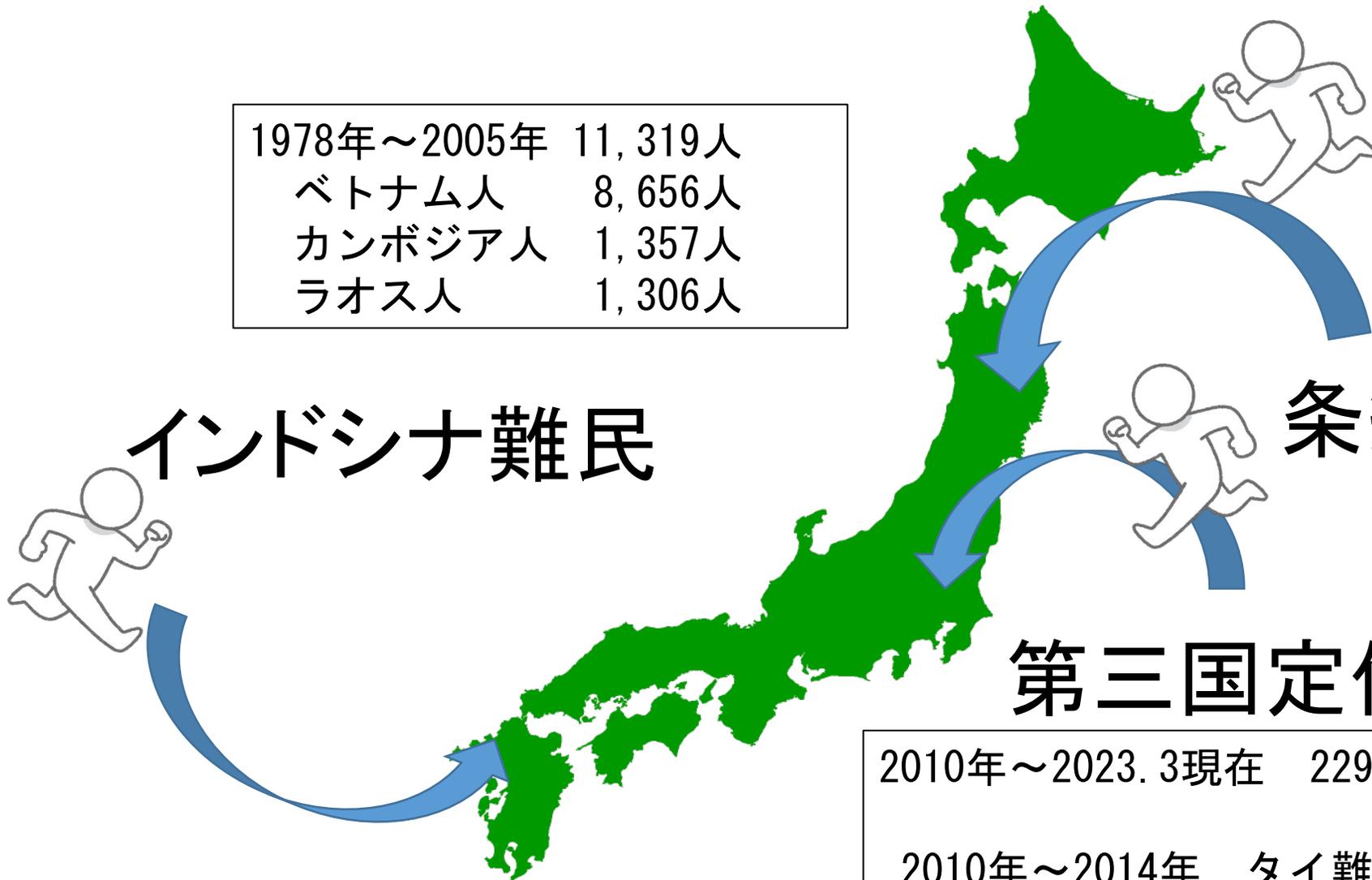
インドシナ難民

条約難民

第三国定住難民

2010年～2023.3現在	229人
----------------	------

2010年～2014年	タイ難民キャンプから受入れ
2015年～	マレーシアから受け入れ



日本の難民受け入れ

1 インドシナ難民 1978～2005年
閣僚了解 定住許可数 11,319人
(ベトナム8,656人・カンボジア1,357人・ラオス1,306人)

2 条約難民 1982～2021年 915人
難民認定
(ミャンマー、コンゴ、イラン、カメルーン、エリトリア、
エチオピア、スーダン、シリア、中国、イエメン、アフガンなど)

3 第三国定住難民 2010年9月～2022年10月
閣僚了解 229人
(ミャンマー)

* 2010～2014年：タイ難民キャンプから／2015～マレーシアから受け入れ

難民に対する日本語教育 3つの基本方針

1. エンパワーメントの日本語教育
2. 人間関係構築力を高める
3. 自律学習能力を高める

①インドシナ難民 日本語学習者数

姫路定住促進センター 2149人
1979年12月～1996年3月（16年3か月）

大和定住促進センター 2090人
1980年2月～1998年3月（18年1か月）

国際救援センター 4640人
1983年4月～2006年3月（22年11か月）

計 8879人

大和定住促進センター101 期生進度表

レベル	到達目標と文型	TPR	文字	運用表現
	教科書「日本語の基礎」使用			教科書「インドシナ難民のための機能別表現集～日本で暮らす・日本で働く」使用
A	43 課 8 日間口頭表現練習 9 日目から 1 課スタート	一日 15 分 8 週間	ひらがな 8 日目まで かたかな 9 日目から 漢字	教科書『インドシナ』 11 週目からスタート 呼び寄せの配偶者が多いので生活場面中心
B	日本語の基礎 37 課 11 日間口頭表現練習 12 日目から 1 課スタート	一日 15 分 8 週間	ひらがな 11 日目まで かたかな 12 日目から 漢字	11 週目からスタート センターを出てすぐ働く人が多いので職場生活中心
進学 クラス	日本語の基礎 33 課 にほんごをまなぼう 1 一冊 10 日間口頭表現練習 11 日目から 1 課スタート	一日 15 分 8 週間	ひらがな 10 日目まで かたかな 11 日目から 漢字	11 週目からスタート 中学や定時制高校に進学希望の人達なので学校関係の表現を取り入れる
C	日本語の基礎 18 課 18 日間口頭表現練習 19 日目から 1 課スタート	一日 15 分 8 週間	ひらがな 18 日目まで かたかな 19 日目から 漢字	11 週目からスタート センターを出てすぐ働く人が多いので職場生活中心
D	日本語の基礎 16 課 26 日間口頭表現練習 27 日目から 1 課スタート	一日 15 分 8 週間	ひらがな 26 日目まで かたかな 27 日目から 漢字	11 週目からスタート 高齢者クラスなのでサバイバル部分を丁寧につくりに学習

学習期間と学習時間:
(45/H)

開設当初

429時間

1987年

1988年

572時間

閉所まで

②条約難民コース 対象：条約難民とその家族（希望者）

<学習者の特徴>

日本での生活が長く、仕事をしている人も多い。
国籍、母語、宗教が多岐にわたり、年齢層も幅広い。
学習背景や、学習スタイル、日本語力も様々。

主な出身国 : ミャンマー、エチオピア、コンゴ
アフガニスタン、イエメン、シリア
スーダン、イラク、ブルンジ、
ウガンダ、中国（ウイグル）…など

多様な背景・日本語レベル・学習ニーズをもつ人が共に学ぶ

個々の学習者に寄り添いつつ、クラスの協働学習を促す

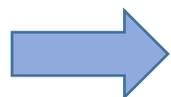
条約難民クラスでの配慮

◆個人情報取り扱いへの配慮

難民本人だけでなく母国の家族についても同様

◆精神面への配慮

様々な経験、背景、精神状態や心理
本国での豊富な教育・社会体験とのギャップ



教師には、学習者の背景を理解しようとする
姿勢、配慮が求められる。

③ 第三国定住難民コース

対象：第三国定住難民 （出身：ミャンマー少数民族）

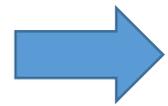
家族で来日し、入国から定住まで一緒に移動する。

（第10陣からは単身者の受け入れも開始）

<学習者の特徴>

キャンプから来日した難民には、学校教育を受ける機会がなかった人、非識字者も含まれ、社会体験にも乏しい場合が多かった。

マレーシアから来日した難民は都市型生活に慣れており、中には比較的学歴の高い人もいるが、就学歴のない人も一定数いる。



教師は一人一人の学習背景に配慮し、それぞれの能力に応じて、自信をもって地域社会に入るためのコミュニケーション力がつくように、心掛けることが求められる。

定住支援プログラムの日本語教育内容概要

【内容】 生活者のための日本語

難民およびその家族が日本社会で自立した生活を営むために必要な日本語力を身につける

- ・ 日常生活を営むのに必要な日本語の基礎 4 技能
- ・ 職場と地域（子供は学校）にソフトランディングするためのコミュニケーションの基礎力
- ・ 日本社会の生活様式、社会習慣等の基礎的知識

定住を目標とした目の前のニーズ＋日本語の土台

【方法】 基本的に直接法

RHQ支援センターの日本語講師体制

- 1クラス4～5名の講師によるチームティーチング
- 各曜日の担当講師が、1日4時限の授業を行う。(夜クラスは2時限)

1じかんめ	9:30~10:45
2じかんめ	10:55~12:10
ひるやすみ	12:10~13:10
3じかんめ	13:10~14:25
4じかんめ	14:35~15:50

決められた時間割はなく、その日の担当講師が1日の授業を組み立てる。

- 講師間の引継ぎは、毎日の授業報告で行う。その日の授業を振り返り、授業の内容を講師間で共有し、翌日の講師はそれをもとに次の授業を繋いでいく。



日本語教育プログラム（大人）の概要

ユニット学習（総合型・活動型学習）

【学習項目例】

1. 自己紹介
2. 何がある？誰がいる？
3. 買い物・外食
4. 一日の生活
5. 交通安全・交通機関
6. 町へ出かけよう
7. 健康と病気・病院の利用
8. 身近な人をもっとよく知る
9. 仕事と職場
10. 季節の行事
11. 地域のコミュニケーション
12. 職場のコミュニケーション
13. あなたがコーチ
（地域参加活動）
14. 緊急事態発生
15. 公共マナー
16. ふるさと紹介
17. 定住生活にむけて
（そのほか…）
人物紹介
比べてみよう
郵便受けのもの
教室に来る前の私、今の私、
これからの私
＜学習発表会＞

一般言語項目（技能別学習）

体系的な文字・語彙学習
（ひらがな・かたかな
基本漢字・生活漢字）
文型・文法の整理
作文、読解
学習日記 **プロソディ**
日本語の詩や
歌による学習

日本語 572時限
生活ガイダンス
120時限
（1時限＝45分）

第三国定住難民 子どもクラス

目標＝学校へのソフトランディング

1. 学習に必要な日本語の基礎力
 - コミュニケーション力
 - 文字力
 - 日本語構文力の基礎
2. 学校生活のための知識と行動力(生活指導)
 - 学校用語
 - 学校生活習慣
3. 自己のアイデンティティに自信をもって生活できる力

学習内容(子どもクラス)

ユニット学習

挨拶、友達作りのための表現等、日常生活・学校生活のために必要な知識やコミュニケーション力

一般言語学習

ひらがな・かたかな・漢字 語彙
絵本読み聞かせ、子ども図書館
国語教科書音読、プロソディ等

生活指導

衛生習慣、身だしなみ、交通安全、
学校生活習慣(朝の会、忘れ物検査、掃除 etc) 季節行事、

教科学習の基礎

国語、算数、生活、理科、社会、
体育、音楽、図工、家庭科

学校体験

近隣の小学校での3~4週間程度の学校生活

<子どもユニット学習項目例>

1. わたしについて
2. 何がある？誰がいる？
3. 家に何がある？
4. 買い物
5. わたしの一日
6. 好きなもの・大切なもの
7. 交通機関・交通安全
8. 町へ出かけよう
9. 健康と病気
10. 学校生活
11. 日本の遊びと
友だちづくり
12. 季節の行事
13. 学校体験に向けて
14. 戸外学習
15. その他

プロソディ（詩と歌による学習）

- ・ことばを五感で感じる
- ・ゆったりした雰囲気での自己表現
- ・ほんものに触れる
- ・日本語のリズムを自然に身につける
- ・文法の無意識的な刷り込み、語彙の増加
- ・レベル差を超えて、多様な背景の人たちがともに楽しむ



葡萄に種があるように

ウクライナ避難民向け日本語教材開発

ウクライナ語で日本と出会う あおぞら はじめて学ぶ日本語



『あおぞら』は、ウクライナから来日した方々の日本語学習をサポートするために作られた教材です。

【特色】

- 巻頭に、ウクライナ語で日本の地理、歴史、文化や日本語の特徴を紹介した読み物を掲載
- 日本語会話は、ウクライナ語訳とキリル文字での発音表記付き
- サイトからダウンロードできる音声データをアップ
- 要所にウクライナ語による「もっと知りたい日本のこと」や「文法メモ」を掲載

ウクライナ語訳のみのコラムで 日本と日本語について知ることから

日本と出会う

「日本の地理」「日本の食生活」
「世界と日本」「日本の伝統行事」
「現代日本の若者文化」「日本の文字」

日本語の特徴

「文法」「音声」「文字」

Японія і світ

Вважається, що Японія як держава почала формуватися у 5 - 6 століттях. У той час у районі Ямато (сучасна префектура Нара) виникло державне утворення Ямато, його правителі контролювали значну частину території і продовжували експансію.

З цього часу активізувався обмін з країнами Східної Азії, Китаєм та Кореєю зокрема. На Японію, де на той час не було писемності, це мало позитивний вплив: разом з буддизмом з континенту до Японії потрапили не тільки ієрогліфи, але й передові знання та технології.

Наприкінці 7 століття країна стала називатися "Японія", що означає "країна сонця, що сходить". Її правителі стали називати "імператором". Японія встановила рівні дипломатичні відносини з Китаєм, і у 7 - 9 століттях багато студентів і ченців були відправлені з Японії до Китаю (Суй та Тан) на навчання. Згодом їх знання і досвід широко використовувались у подальшій розбудові держави.

У 710 столиця була перенесена в Нара, нове місто, побудоване за зразком танської столиці Чан'ань (сучасний Китай). Буддизм був оголошений «захисником держави», тобто визначений як державна релігія, тому для поширення буддизму по всій країні імператор Шьому активно заохочував будівництво буддійських храмів. Так, у 754 року у Нарі було збудовано храм Тодай-дзі зі статуєю Великого Будду (заввишки 15 м). 794 року столиця перемістилася на територію нинішнього Кіото, там вона залишалася впродовж 1000 років до 1869 року.

З давніх-давен японці вірили в існування душі у всіх елементах природи, таких як гори, ліси, рослини, дерева і камені, шанувували духів предків і поклонялися безлічі небесних й земних божеств «камі».

Такі етнічні вірування були систематизовані і склалися у релігію, відому як «шінтотом». У шінто немає засновника та священних писань, але він шанує чистоту і сприймає смерть, кров, пологи, епідемії та пожежі як бруд. Цим пояснюється підвищена увага у шінто до ритуалів, пов'язаних з очищенням. Існують фестивалі, присвячені молитвам про гарний урожай навесні та подяку за врожай восени, під час яких містом проносять переносні святині «мікоші».

Коли буддизм поширився всією країною, він поєднався з віруваннями



大神神社 二峰山の朝日

はじめて学ぶ 日本語

ウクライナ語訳 キリル文字の発音表記付

1 こんにちは

Can do 挨拶ができる。10までの数字を言うことができる。

かいわ: こんにちは

★ハンナさんは、りさんと あいさつを しています。

りさ: こんにちは。
きょうは いい てんきですね。

ハンナ: あ、こんにちは。
いい てんきですね。



にほんごで なんですか

① おはようございます / おはよう

② こんにちは

③ こんにちは

④ さようなら / またね

⑤ ありがとうございます / ありがとう

⑥ すみません (ごめんなさい / ごめん)

📖 あいさつ表現集 P40

1 Коннічіва Добрий день!

Meta уроку Як привітатися і порахувати до 10.

Кайва: Коннічіва Розмова: Добрий день!

★ Ганна вітає Рісу.

Ріса: Коннічіва
Кьо: ва і: тенкі дес не.

Ханна: А, коннічіва.
І: тенкі дес не.

Ріса: Добрий день.
Сьогодні гарна погода.

Ганна: О, добрий день.
Так, гарна погода.

Ніхонґоде нан дес ка Як це японською?

① Охайо: годзіаімас./Охайо:. ② Коннічіва. ③ Комбанва.

Доброго ранку (ввічливо) / Добрий вечір.

ранку.

④ Сайо: нара/Матане. ⑤ Гоменнасай./гомен.

До побачення. / дякую. (ввічливо) / Вибачте. /
Бувай. Дякую. Вибач.

📖 Перелік виразів-привітань P40

Дізнаймося про Японію більше! あいさつと天気

ВІТАННЯ І ПОГОДА

Коли японці зустрічають сусідів чи колег по роботі, вони часто обговорюють тему погоди. Наприклад, 「今日(きょう)は寒(さむ)いですね(Сьогодні холодно.)」 або 「きのうはよく降(ふ)りましたね(Вчора дощило, чи не так?)」. Розмовляючи на спільні теми, ми створюємо привід для подальшого спілкування. У Японії є вітання 「お元気(げんき)ですか(Як справи?)」 「お元気(げんき)でしたか(У Вас все гаразд?)」, але вони не часто використовуються по відношенню до людей, яких ви зустрічаєте щодня. Це стосується людей, яких ви не бачили довгий час.

音声データで

自習も可能

付録

分類語彙辞書

仕事	仕事	仕事
せんせい(きょうし)	сенсе:(кьо:ші)	учитель/учителька
がくせい	гакусе:	студент/студентка
かいしゃいん	кайшяін	працівник/працівниця компанії
ぎんこういん	гінко:ін	працівник/працівниця банку
こうむいん	ко:муін	держслужбовець/ держслужбовиця
てんいん	тен'ін	продавець/продавчиця
エンジニア	енджініа	інженер/інженерка
ITエンジニア	айті:енджініа	IT-інженер/IT-інженерка
つうやく	цу:яку	перекладач/перекладачка
いしゃ	ішя	лікар/лікарка
かんごし	кангоші	медбрат/медсестра
アルバイト	арубайто	підробіток, працівник/-ниця на неповний робочий день

事務所	事務所	事務所
うけつけ(受付)	укецукке	приймальна, довідкове бюро
ロビー	роби:	вестибюль, фойе
エスカレーター	есукаре:та:	эскалатор
エレベーター	еребе:та:	ліфт
きつえんじょ(喫煙所)	кіцуенджьо	місце для паління
トイレ / けしょうしつ(化粧室)	тоіре / кешьо:шіцу	туалет
ひじょうぐち(非常口)	хіджьо:гучі	аварійний вихід
コピーき(コピー機)	копі:кі	копіювальний апарат, ксерокс
ロッカー	рокка:	шафа-локер

店	店	店
さかなや	саканая	рибний магазин
やおや	яоя	овочевий магазин
くだものや	кудамоноя	фруктовий магазин
パンや	пан'я	хлібний магазин, пекарня
にくや	нікуя	м'ясний магазин
さかや	сакая	магазин алкогольних напоїв
ラーメンや	ра:мен'я	ресторан рамен

語彙まとめ表

疑問詞	ウクライナ語訳	使い方	使い方ウクライナ語訳
何・なん нан	що	これは なん ですか。 Коре ва нан дес ка.	Що це?
		いま なんじ ですか。 Іма нан джі дес ка.	Котра година?
		きょうは なんようび ですか。 Кьо: ва нан йо:бі дес ка.	Який сьогодні день тижня?
何・なに нані	що	何が すき ですか。 Нані га сукі дес ка.	Що ви любите?
		えきの まえに なにが ありますか。 Екі но мае ні нані га арімас ка.	Що є перед станцією?
		しゅうまつに なにを しますか。 Шю:мацу ні нані о шімас ка.	Що ви робите наприкінці тижні?
いつ іцу	коли	たんじょうびは いつ ですか。 Танджьо:бі ва іцу дес ка.	Коли ваш день народження?
		いつ にほんに きましたか。 Іцу Ніхон ні кімашіта ка.	Коли ви приїхали до Японії?

生活の中の漢字

字 (見る/読む→わかる)
ієрогліфі у повсякденному житті

① エアコンのリモコン eakon no rimokon пульта кондиціонера

